

# PCフォーラム

JA水郷つくばパソコン研究会会報 2019年3月号

事務局：JA水郷つくば本店 営農部園芸企画課

住所：土浦市田中1-1-4 電話：823-7001

ホームページ <https://www.dappe.com/>

ブログ <http://dappe.chicappa.jp/japc/>

メールアドレス [japc1@dappe.com](mailto:japc1@dappe.com)



FACEBOOK JA水郷つくばパソコン研究会

Instagram #JA土浦パソコン研究会 #JA水郷つくばパソコン研究会

定例会予定 今月のテーマ：農業簿記・エクセル

定例会予定 午後7時半より

2月19日 デジカメ講座、画像処理など

26日 農業簿記、エクセルなど

3月05日 カービング講座、ワード、タイピングなど

12日 エクセル、スマホ使い方など

19日 デジカメ講座、ブログ、SNSなど

26日 総会資料作成ほか

4月02日 カービング講座、パワーポイントなど

09日 総会 午後7時より

16日 エクセル、スマホなど



## JA合併によせて

会長 小林 芳行

皆様寒い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。梅の花もほころんで来ましたがまだまだ寒い日が続くと思うのでお体気をつけてお仕事励んでください。

さて、2月1日JA広域合併により「JA水郷つくば」が誕生しました。北は千代田地区の恋瀬川から、南は利根町の利根川までを管内とする大きなJAとなりました。これからは、大きなメリットを生かして有利な農産物販売や諸資材の値下げ購入などができるようになってほしいものです。

また、パソコン研究会は4月9日に2019年度の総会を予定していますのでよろしくお願い申し上げます。

定例会においては、お知らせのように毎回濃い内容で行っておりますので、どうぞご参加お願いいたします。会の情報はラインやメーリングリスト、ホームページなどでお知らせしていますので、そちらでもご確認ください。

ホームページ <https://dappe.com>

メーリングリストとラインは参加希望をお知らせください。

メールアドレス [japc1@dappe.com](mailto:japc1@dappe.com) まで

ホームページQRコード

ブログ



会員のホームページ作成事例



JA土浦時代の広報誌をWEBで読もう (2018年分)



※※今月の特集※※

[SNS\(フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINEなど\)の投稿に注意!](#)

今は「ヤミ金の多くは、今ではチラシやビラよりもネット、SNS」だそうです。  
先日、NHK クローズアップ現代で放送されていました。

関西に住む30代女性は、お金に困った時に「貸します」という投稿に軽い気持ちで言われたとおりにIDや免許証番号を教えて1万5000円を借り、約束の1週間後に返済したところ、相手の態度が豹変したのです。

「返済が1時間遅れた」と追加の支払いを要求され、「払わなければ友人や保育園のママ友に借金をばらすぞ」と脅されたのです。その後、女性は他のヤミ金からも借金をし、2か月で100万円以上を脅し取られたというのです。

司法書士事務所にはこうした相談が急増し、中には「カネを払えないなら仕事を手伝え」といわれたケースもあるそうで、「自分の情報をどこまで管理できているか、わかっていない人が多い」といいます。今は、どんな事件もターゲットをSNSから調べるのが犯罪者の基本になっています。

SNSでのターゲット選び。たとえば、高級ブランドを着て投稿している人を探す。レアものの衣服を着て、うしろに高級外車も写る男性。この人の書き込みに「電車が遅れている」とあれば、そこから膨大なダイヤ遅れのデータを調べて、路線を特定でき、うしろに映っている公園なども有力な手掛かりとなります。グーグルアースを使えば、家（住居）が特定できるのです。



ターゲットの住居を特定した犯罪グループは、防犯カメラの位置も調べます。犯行のメンバー集めにもSNSで「『おカネが稼げます』とツイートすれば連絡がくる」そうです。互いの素性を知らなければ、仲間が警察に捕まっても捜査の手は及ばず「自分が逃げられるのはSNSのおかげだ」と言います。SNSの使用で罪悪感が薄れ、気楽に犯罪ができる傾向もあるようです。

フェイスブックやツイッター、インスタグラム、LINEなどのSNSに投稿した情報は、あらゆる人に見られていると思わないといけないもので、公開範囲をしっかりと限定するなどの管理が必要となります。「全面公開は、渋谷交差点に裸で立つのと同じようなもの。位置情報は外せるし、友だち情報にも気をつけて。投稿はリアルタイムでなく、時間差をつけてする方がいい」と、ITジャーナリストの高橋さんはアドバイスしています。

また、SNSの中の広告には「初心者でも稼げます」など甘い誘い文句が書かれているのがあります。「興味がある人はLINEに連絡してね」などの文言とともに「LINE ID」が記載されていたりしますが、実際にLINEで連絡を取ると「副業のためには初期投資が必要」という返信とともに数十万円近くの支払いを要求されたりします。

主要なSNSには、詐欺業者が潜んでいるので、現実同様、甘い言葉で彩られた儲け話には一歩引いて見なければならぬのです。

こうした「SNSきっかけ犯罪」は、わかっているのは氷山の一角で閲覧サイトや関連広告などへの法整備も遅れています。安易に投稿せず、危険な誘いをかぎ分けて、気をつけなければいけません。現状は危険すぎるのです。



(文：みやざき)

#### 【編集後記】

ツイッター、FACEBOOK  
インスタグラムなどで  
自分が現在どこにいるという  
ことも特定されてしまう  
ことも不安なこともありますね。  
(小・宮)